

## 調査結果（全体）

### 十日町市第2次学区適正化方針に関するアンケート調査について（全体結果）

令和3年11月11日

#### 第1 調査概要

##### 1 調査目的

令和元年5月に策定した十日町市第2次学区適正化方針に定める学区再編計画を進めるための基礎資料とするため、未就学児童及び就学児童生徒の保護者の意識・意向を調査するもの

##### 2 調査対象者

市内の未就学児童の保護者及び市立学校の児童生徒の保護者（世帯単位）

##### 3 調査方法

###### (1) 市内の未就学児の保護者

郵送で調査票を配布・回収する。

###### (2) 市立小・中学生の保護者

当該小・中学生が所属する小・中学校を通じて調査票を配布・回収する。

複数の小・中学生がいる保護者は、年長の子の学級を通じて配布・回収する。

##### 4 調査期間

令和3年7月21日～同年9月30日

##### 5 調査項目等

問	設問の趣旨	設問内容	設問の方式
問1	回答者の属性把握	調査対象者の子の就学状況	選択式
問2	回答者の属性把握	住居学校区	選択式
問3	市の基本方針への意向調査	学区適正化基本方針の賛否	選択式
問4	市の基本方針への意向調査	問3の賛否理由（小学校）	選択式（一部記述）
問5	市の基本方針への意向調査	問3の賛否理由（中学校）	選択式（一部記述）
問6	身近な小・中学校の再編について意向調査	居住地区での小・中学校の再編要否及び再編対象となる学校の認識	選択式（一部記述）
問7	学級人数について所感把握	現在の学級人数と所感	選択式（一部記述）
問8	小・中学校再編に当たっての価値観把握	再編の際に特に重要と思うこと	選択式（一部記述）
問9	再編に当たっての留意点	再編に当たっての課題や懸念	記述式
問10	その他回答者の意見把握	自由記述	記述式
問11	東小学校区の保護者の意向調査	東小学校卒業後の進学先中学校について	選択式（一部記述）

##### 6 添付資料

資料1 第2次十日町市立小中学校の学区適正化に関する方針（概要版）

資料2-1 令和2年～8年度児童数推計表

資料2-2 令和2年～14年度生徒数推計表

資料3 十日町市各種区分別人口の推移

## 第2 調査結果

### 1 回収結果

- (1) 対象世帯数（調査票配布数） 3,053件（母集団（N））
- (2) 回収票数 1,326件（回収率：43.4%）  
有効票数（集計対象） 1,315件（回収率43.1%）（標本全体）
- (3) 保護者の類型による内訳（N=3,053）

対象者区分	対象世帯数	有効票数	回収率(%)
A 未就学児のみの保護者	740	288	38.9
B 小学生以上の子がいる 保護者（A以外）	2,313	1,027	44.4

### 2 回答の集計数値の表し方等

- 設問は 単一回答（1つだけ選択）と複数回答の2種類がある。
- 図表の数値は、原則として各設問の無回答を含む回答総数（※）に対する割合（%）で表している。  
※設問によって分母が異なる。【母集団又は標本数を「N(n)=●」で表示】
- 割合は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答の設問では、合計が100.0%を超える場合がある

### 3 調査内容

問1 あなたのお子さんの就学状況をお答えください。(複数回答)  
(n=1,315)

対象者区分	回答数 (件)	割合 (%)
1 小学校入学前 (未就学)	511	38.9
2 小学生 (1～3年生)	448	34.1
3 小学生 (4～6年生)	442	33.6
4 中学生	471	35.8
5 中学校卒業以上の子	190	14.4

問2 あなたの居住地区における小学校区をお答えください。(単一回答)  
(※学区外就学をしている子がいる保護者も本来の学区を記入)  
(n=1,315)

小学校区	配布数 (件)	回答数 (件)	回収率 (%)
十小	328	142	43.3
中条小	223	101	45.3
東小 (十中)	135	67	49.6
東小 (中条中)	197	77	39.1
飛一小	20	10	50.0
川治小	407	161	39.6
吉田小	56	26	46.4
鎧島小	69	36	52.2
下条小	182	68	37.4
水沢小	244	107	43.9
馬場小	57	27	47.4
西小	360	161	44.7
千手小	163	79	48.5
上野小	87	40	46.0
橘小	62	32	51.6
田沢小	268	104	38.8
松代小	128	59	46.1
松之山小	67	18	26.9
合計	3,053	1,315	43.1

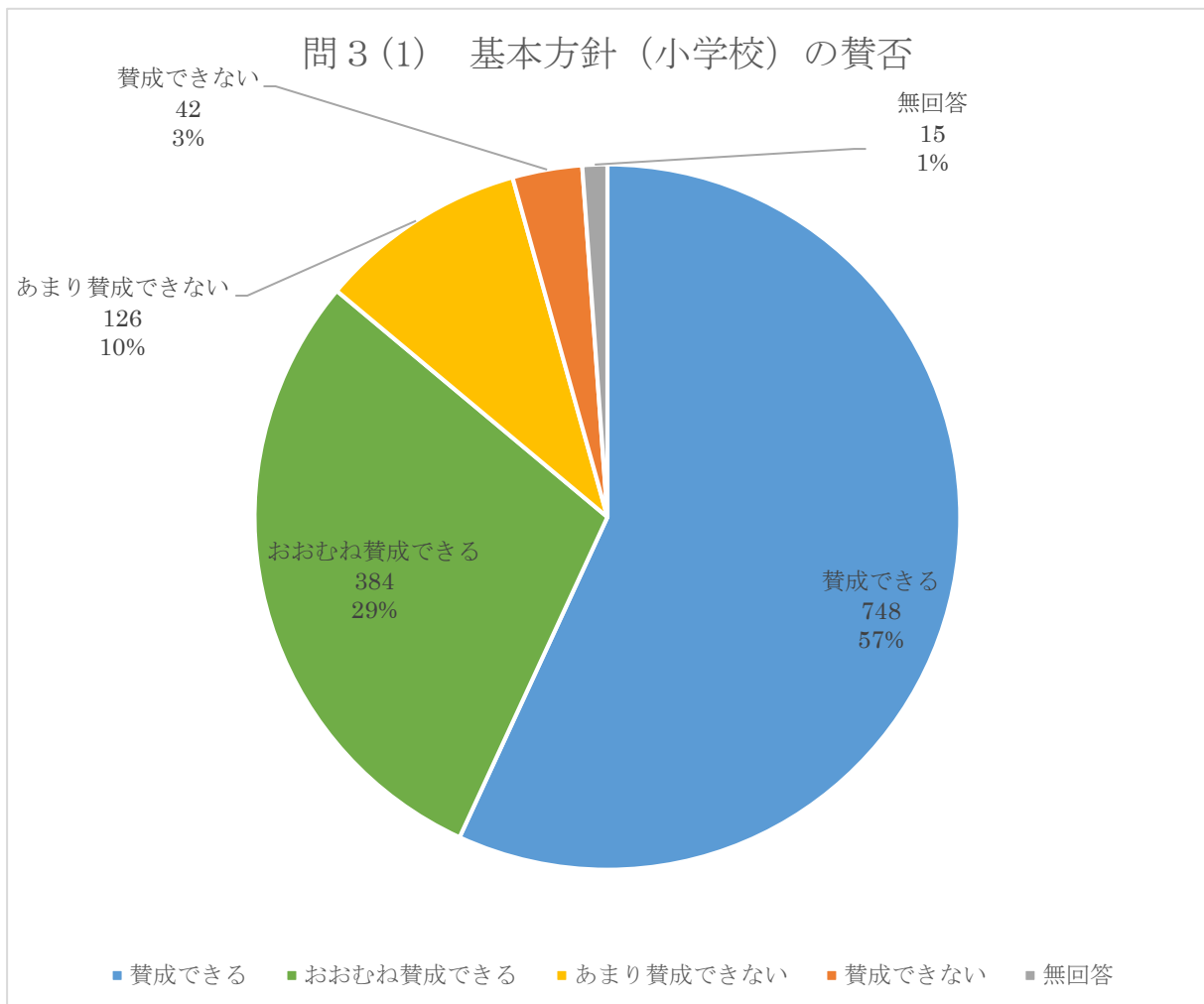
問3 十日町市の学区再編（学校統合）の基本方針への賛否の状況（単一回答）

(1) **小学校**では1学年1学級以上であること。（複式学級が解消される学校規模）  
(n=1,315)

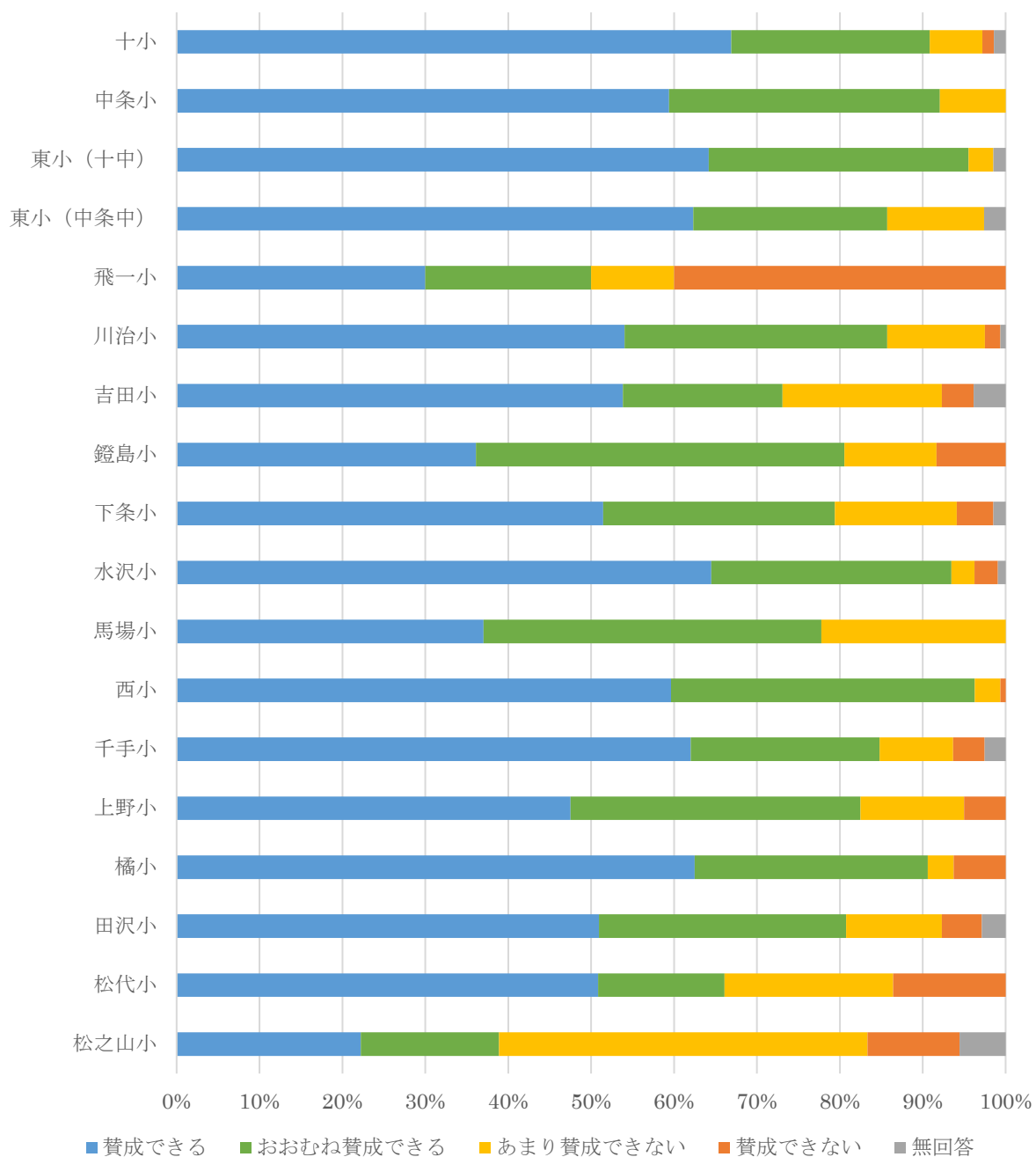
- 全体では「賛成できる」が748件（56.9%）と最も多く、ついで「おおむね賛成できる」が384件（29.2%）で、賛成意見は合わせて1,132件（86.1%）であった。
- 一方、「あまり賛成できない」が126件（9.6%）、「賛成できない」が42件（3.2%）で、反対意見は合わせて168件（12.8%）であった。

（所見）

- 全体としては86.1%が賛成と回答しており、基本方針については概ね理解されていることがうかがえる。
- しかしながら、賛成できないとする回答が、松代小学校は33.9%、飛渡第一小学校は50.0%であった。当該校は学区再編計画上、再編される学校であることから、学区再編を望んでいない保護者が比較的多いことがうかがえる。
- 再編対象となっていない松之山小学校では、賛成できないとする回答が55.5%と最も高く、こちらも学区再編を望んでいない保護者が多いことがうかがえる。



### 問3(1) 基本方針（小学校）の賛否 小学校区別割合



(単位：件)

区分	中学校区	賛成できる	おおむね賛成できる	あまり賛成できない	賛成できない	無回答
全体 (n=1,315)	—	748 56.9%	384 29.2%	126 9.6%	42 3.2%	15 1.1%
十小 (n=142)	十中	95 66.9%	34 23.9%	9 6.3%	2 1.4%	2 1.4%
中条小 (n=101)	中条中	60 59.4%	33 32.7%	8 7.9%	0 0.0%	0 0.0%
東小 (十中) (n=67)	十中	43 64.2%	21 31.3%	2 3.0%	0 0.0%	1 1.5%
東小 (中条中) (n=77)	中条中	48 62.3%	18 23.4%	9 11.7%	0 0.0%	2 2.6%
飛一小 (n=10)	中条中	3 30.0%	2 20.0%	1 10.0%	4 40.0%	0 0.0%
川治小 (n=161)	南中	87 54.0%	51 31.7%	19 11.8%	3 1.9%	1 0.6%
吉田小 (n=26)	吉田中	14 53.8%	5 19.2%	5 19.2%	1 3.8%	1 3.8%
鑑島小 (n=36)	吉田中	13 36.1%	16 44.4%	4 11.1%	3 8.3%	0 0.0%
下条小 (n=68)	下条中	35 51.5%	19 27.9%	10 14.7%	3 4.4%	1 1.5%
水沢小 (n=107)	水沢中	69 64.5%	31 29.0%	3 2.8%	3 2.8%	1 0.9%
馬場小 (n=27)	水沢中	10 37.0%	11 40.7%	6 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
西小 (n=161)	南中	96 59.6%	59 36.6%	5 3.1%	1 0.6%	0 0.0%
千手小 (n=79)	川西中	49 62.0%	18 22.8%	7 8.9%	3 3.8%	2 2.5%
上野小 (n=40)	川西中	19 47.5%	14 35.0%	5 12.5%	2 5.0%	0 0.0%
橘小 (n=32)	川西中	20 62.5%	9 28.1%	1 3.1%	2 6.3%	0 0.0%
田沢小 (n=104)	中里中	53 51.0%	31 29.8%	12 11.5%	5 4.8%	3 2.9%
松代小 (n=59)	松代中	30 50.8%	9 15.3%	12 20.3%	8 13.6%	0 0.0%
松之山小 (n=18)	松之山中	4 22.2%	3 16.7%	8 44.4%	2 11.1%	1 5.6%

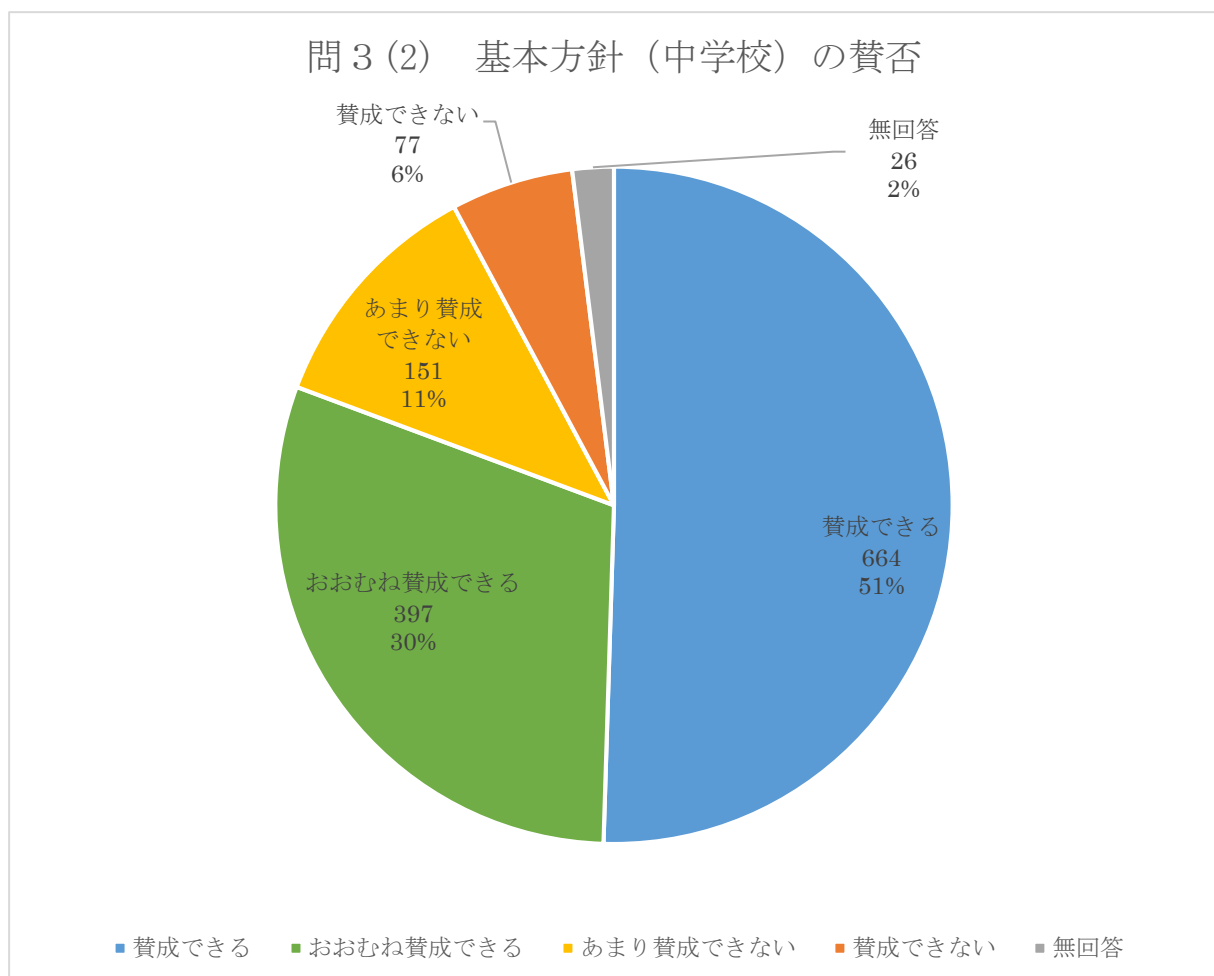
- (2) **中学校**では1学年2学級以上であること。(クラス替えが可能で、各教科担任が充足される学校規模)

(n=1,315)

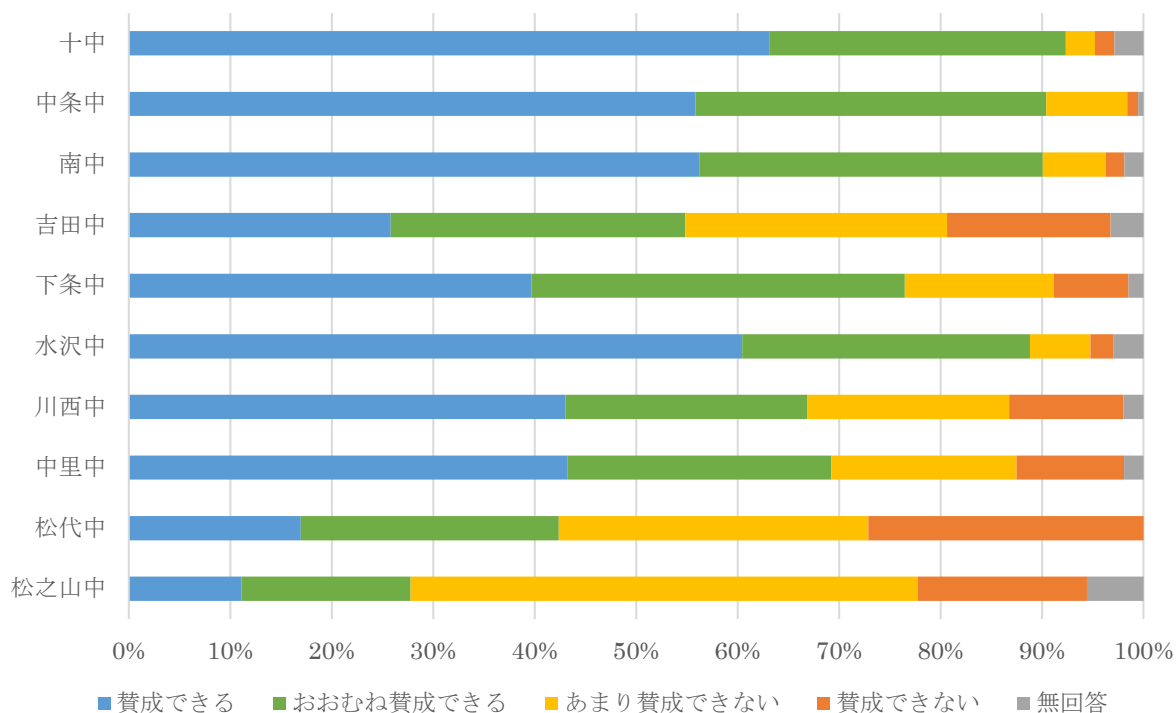
- 全体では「賛成できる」が664件(50.5%)と最も多く、ついで「おおむね賛成できる」が397件(30.2%)で、賛成意見は合わせて1,061件(80.7%)であった。
- 一方、「あまり賛成できない」が151件(11.5%)、「賛成できない」が77件(5.9%)で、反対意見は合わせて228件(17.4%)であった。

(所見)

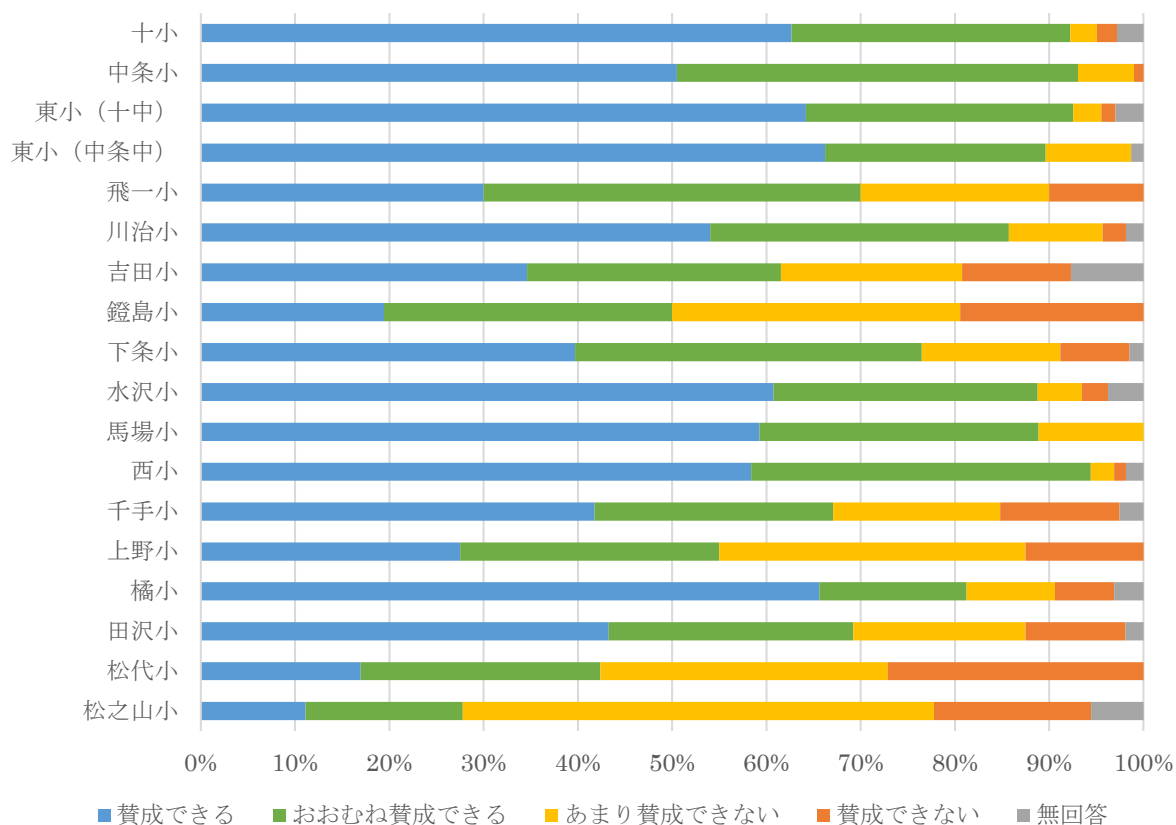
- 全体としては80.7%が賛成と回答しており、中学校についても基本方針が概ね理解されていることがうかがえる。
- しかしながら、賛成できないとする回答が、川西中学校は31.1%、吉田中学校は41.9%、松代中学校は57.6%であった。当該校区は学区再編計画上、再編される学校区であることから、学区再編を望んでいない保護者が多いことがうかがえる。
- 再編対象となっていない松之山中学校では、賛成できないとする回答が66.7%と最も高く、こちらも学区再編を望んでいない保護者が多いことがうかがえる。



問 3 (2) 基本方針（中学校）の賛否 中学校区別割合



問 3 (2) 基本方針（中学校）の賛否 小学校区別割合





(単位：件)

区分	中学校区	賛成できる	おおむね賛成できる	あまり賛成できない	賛成できない	無回答
全体 (n=1,315)	—	664 50.5%	397 30.2%	151 11.5%	77 5.9%	26 2.0%
十小 (n=142)	十中	89 62.7%	42 29.6%	4 2.8%	3 2.1%	4 2.8%
中条小 (n=101)	中条中	51 50.5%	43 42.6%	6 5.9%	1 1.0%	0 0.0%
東小（十中） (n=67)	十中	43 64.2%	19 28.4%	2 3.0%	1 1.5%	2 3.0%
東小（中条中） (n=77)	中条中	51 66.2%	18 23.4%	7 9.1%	0 0.0%	1 1.3%
飛一小 (n=10)	中条中	3 30.0%	4 40.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%
川治小 (n=161)	南中	87 54.0%	51 31.7%	16 9.9%	4 2.5%	3 1.9%
吉田小 (n=26)	吉田中	9 34.6%	7 26.9%	5 19.2%	3 11.5%	2 7.7%
鑑島小 (n=36)	吉田中	7 19.4%	11 30.6%	11 30.6%	7 19.4%	0 0.0%
下条小 (n=68)	下条中	27 39.7%	25 36.8%	10 14.7%	5 7.4%	1 1.5%
水沢小 (n=107)	水沢中	65 60.7%	30 28.0%	5 4.7%	3 2.8%	4 3.7%
馬場小 (n=27)	水沢中	16 59.3%	8 29.6%	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
西小 (n=161)	南中	94 58.4%	58 36.0%	4 2.5%	2 1.2%	3 1.9%
千手小 (n=79)	川西中	33 41.8%	20 25.3%	14 17.7%	10 12.7%	2 2.5%
上野小 (n=40)	川西中	11 27.5%	11 27.5%	13 32.5%	5 12.5%	0 0.0%
橘小 (n=32)	川西中	21 65.6%	5 15.6%	3 9.4%	2 6.3%	1 3.1%
田沢小 (n=104)	中里中	45 43.3%	27 26.0%	19 18.3%	11 10.6%	2 1.9%
松代小 (n=59)	松代中	10 16.9%	15 25.4%	18 30.5%	16 27.1%	0 0.0%
松之山小 (n=18)	松之山中	2 11.1%	3 16.7%	9 50.0%	3 16.7%	1 5.6%

#### 問 4

- (1) 問3の「**(1) 小学校について**」の回答を「賛成できる」「おおむね賛成できる」とした場合、あなたがそう考える理由として近いもの（複数回答）

<p>●「①集団の中で切磋琢磨する経験をとおして、多様な考え方に触れることができ、社会性やたくましさ等が育まれるから」が827件（73.1%）と最も多く、ついで「⑥運動会や文化祭などの学校行事や集団教育活動に活気が生じるから」が518件（45.8%）、「⑦部活動やクラブ活動の種類が多くなり、選択できるようになるから」が493件（43.6%）であった。</p>
<p>（所見）</p> <p>●①が最も多く、ある程度の学校規模により、社会性を育むことを重視する保護者が多いことがうかがえる。</p> <p>●運動会等の学校行事や部活動においても、多人数化による活性化への期待がうかがえる。</p>

< A表 > (n=1, 132)

近い理由	回答	
	件数	割合 (%)
① 集団の中で切磋琢磨する経験をとおして、多様な考え方に触れることができ、社会性やたくましさ等が育まれるから	827	73.1
⑥ 運動会や文化祭などの学校行事や集団教育活動に活気が生じるから	518	45.8
⑦ 部活動やクラブ活動の種類が多くなり、選択できるようになるから	493	43.6
④ 学校規模が大きくなり人数が多くなると、児童の習熟度学習やグループ学習など、多様な教育ができるようになるから	426	37.6
⑤ 体育の球技音楽の合唱・合奏、調理実習等の集団学習を経験できるから	405	35.8
③ 複式学級が解消されると児童が直接教員と対面して学習できる場面が増え、教員と児童の負担が軽減するから	328	29.0
② 学校規模が大きくなると、教職員数が増え、よりきめ細かな学習をすることができるから	310	27.4
⑧ 保護者同士の交流や役割分担が進み、P T A等の活動が活性化するから	91	8.0
⑨ その他（上記以外にあればこの欄にご記入ください） <内容は別紙「調査結果（記述部分）」のとおり>	54	4.8
無回答	8	0.7

(2) 問3の「**(1) 小学校について**」の回答を「あまり賛成できない」「賛成できない」とした場合、あなたがそう考える理由として近いもの（複数回答）

- 「②学校規模が小さい方が、教員が児童一人一人の学習状況や学習内容等を的確に把握し、きめ細かな学習ができるから」が113件（67.3%）と最も多く、ついで「⑥学校を統合した場合、学校までの距離が遠くなり、児童の登下校の負担や危険性が高まる不安があるから」が107件（63.7%）であった。
- （所見）
- 学校規模が小さい方が、よりきめ細かな学習が受けられると考えている保護者が多いことがうかがえる。
  - 通学距離が遠くなることで、児童の負担増加や登下校時の危険性が高くなることを不安に感じている保護者が多いことがうかがえる。

< B表 > (n=168)

近い理由	回答欄	
	件数	割合 (%)
② 学校規模が小さい方が、教員が児童一人一人の学習状況や学習内容等を的確に把握し、きめ細かな学習ができるから	113	67.3
⑥ 学校を統合した場合、学校までの距離が遠くなり、児童の登下校の負担や危険性が高まる不安があるから	107	63.7
④ 学校規模が小さい方が、児童が互いによく知り合え、子どもや教職員の一体感が深まりやすいから	72	42.9
⑤ 学校規模が小さい方が、児童の家庭状況や地域の教育環境が把握しやすいため、保護者や地域と連携した教育がしやすいから	68	40.5
① 学校規模が小さい方が、学年の上の子が下の子に教えるという場面が作りやすく、頼りにされるという経験を重ねることができるから	63	37.5
③ 学校規模が小さい方が、児童が意見や感想を発表できる機会が多くなるから	59	35.1
⑦ 学校規模が大きくなると、児童の人間関係が希薄化し、いじめ等が発生する可能性が高まる心配があるから	52	31
⑨ その他（上記以外にあればこの欄にご記入ください） < 内容は別紙「調査結果（記述部分）」のとおり >	35	20.8
⑧ 小学校で1学年1学級では、まだ学校規模が小さいから（この場合、そう考える理由がありましたらこの欄にご記入ください）< 内容は別紙「調査結果（記述部分）」のとおり >	9	5.4
無回答	0	0

# 問5

- (1) 問3の「**(2) 中学校について**」の回答を「賛成できる」「おおむね賛成できる」とした場合、あなたがそう考える理由として近いもの（複数回答）

<p>●「①集団の中で切磋琢磨する経験をとおして、社会性やたくましさ等が育まれるから」が725件（68.3%）と最も多く、ついで「⑦部活動やクラブ活動の種類が多くなり、選択できるようになるから」が685件（64.6%）、「②クラス替えがないと、生徒の人間関係が固定化され多様なものの見方、考え方を学ぶことが難しくなるから」が609件（57.4%）であった。</p>
<p>（所見）</p> <p>●①が最も多く、ある程度の学校規模により、社会性を育むことを重視する保護者が多いことがうかがえる。</p> <p>●運動会等の学校行事や部活動においても、多人数化による活性化への期待がうかがえる。</p> <p>●生徒の人間関係や教育上の観点から、クラス替えの必要性を考える保護者が多いことがうかがえる。</p>

< C表 > (n=1,061)

近い理由	回答	
	件数	割合 (%)
① 集団の中で切磋琢磨する経験をとおして、社会性やたくましさ等が育まれるから	725	68.3
⑦ 部活動やクラブ活動の種類が多くなり、選択できるようになるから	685	64.6
② クラス替えがないと、生徒の人間関係が固定化され多様なものの見方、考え方を学ぶことが難しくなるから	609	57.4
⑥ 体育祭や文化祭などの学校行事や集団教育活動に活気が生じるから	529	49.9
⑤ 体育の球技、音楽の合唱・合奏、調理実習等のような集団学習を経験できるから	425	40.1
④ 学校規模が大きくなり人数が多くなると、生徒の習熟度学習やグループ学習など、多様な教育ができるようになるから	400	37.7
③ 学校規模が大きくなると、教職員数が増え、よりきめ細かな学習をすることができるから	312	29.4
⑧ 保護者同士の交流や役割分担が進み、PTA等の活動が活性化するから	81	7.6
⑨ その他（上記以外にあればこの欄にご記入ください） <内容は別紙「調査結果（記述部分）」のとおり>	43	4.1
無回答	9	0.8

(2) 問3の「**(2) 中学校について**」の回答を「あまり賛成できない」「賛成できない」とした場合、あなたがそう考える理由として近いもの（複数回答）

●「⑥学校を統合した場合、学校までの距離が遠くなり、生徒の登下校の負担や危険性が高まる不安があるから」が161件（70.6%）と最も多く、ついで「②学校規模が小さい方が、教員が生徒一人一人の学習状況や学習内容等を的確に把握し、きめ細かな学習ができるから」が115件（50.4%）であった。

（所見）

●通学距離が遠くなることでの、生徒の負担増加や登下校時の危険性が高くなることを不安に感じている保護者が多いことがうかがえる。

●小学校と同様、学校規模が小さい方が、よりきめ細かな学習が受けられると考えている保護者が多いことがうかがえる。

< D表 > (n=228)

近い理由	回答	
	件数	割合 (%)
⑥ 学校を統合した場合、学校までの距離が遠くなり、生徒の登下校の負担や危険性が高まる不安があるから	161	70.6
② 学校規模が小さい方が、教員が生徒一人一人の学習状況や学習内容等を的確に把握し、きめ細かな学習ができるから	115	50.4
④ 学校規模が小さい方が、生徒が互いによく知り合え、子どもや教職員の一体感が深まりやすいから	86	37.7
⑦ 学校規模が大きくなると、生徒の人間関係が希薄化し、いじめ等が発生する可能性が高まる心配があるから	82	36
⑤ 学校規模が小さい方が、生徒の家庭状況や地域の教育環境が把握しやすいため、保護者や地域と連携した教育がしやすいから	80	35.1
③ 学校規模が小さい方が、生徒が意見や感想を発表できる機会が多くなるから	61	26.8
⑨ その他（上記以外にあればこの欄にご記入ください） ＜内容は別紙「調査結果（記述部分）」のとおり＞	52	22.8
① 学校規模が小さい方が、学年の上の子が下の子に教えるという場面が作りやすく、頼りにされるという経験を重ねることができるから	50	21.9
⑧ この規模でも、まだ学校規模が小さいから（この場合、そう考える理由がありましたら、この欄にご記入ください） ＜内容は別紙「調査結果（記述部分）」のとおり＞	5	2.2
無回答	2	0.9

問6 あなたの居住地区での小・中学校（問2で選択した学校区）の学区再編（学校統合）についてお尋ねします。

【小学校】

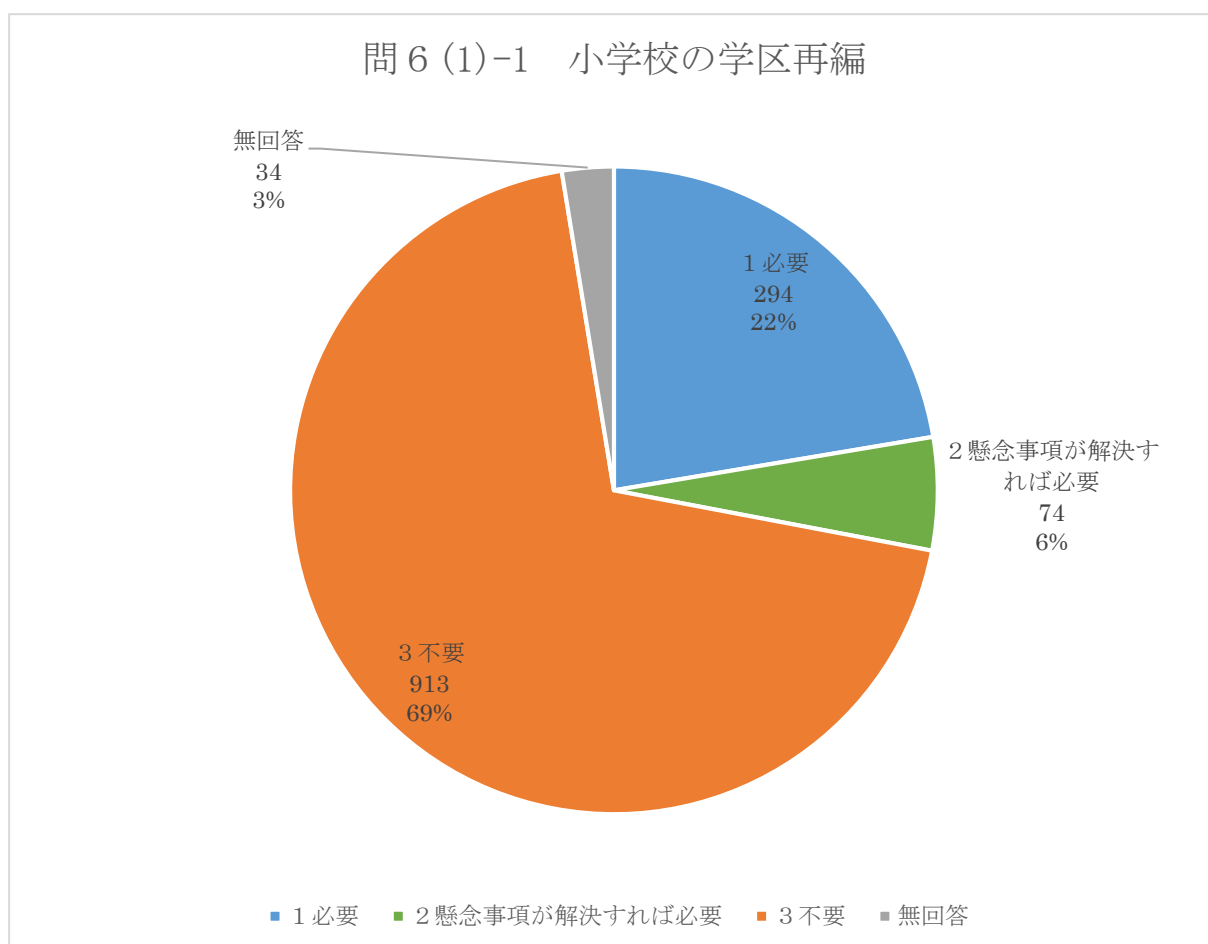
■全体（n=1,315）

(1)-1 あなたの居住地区の**小学校**について、学区再編が必要だと思いますか

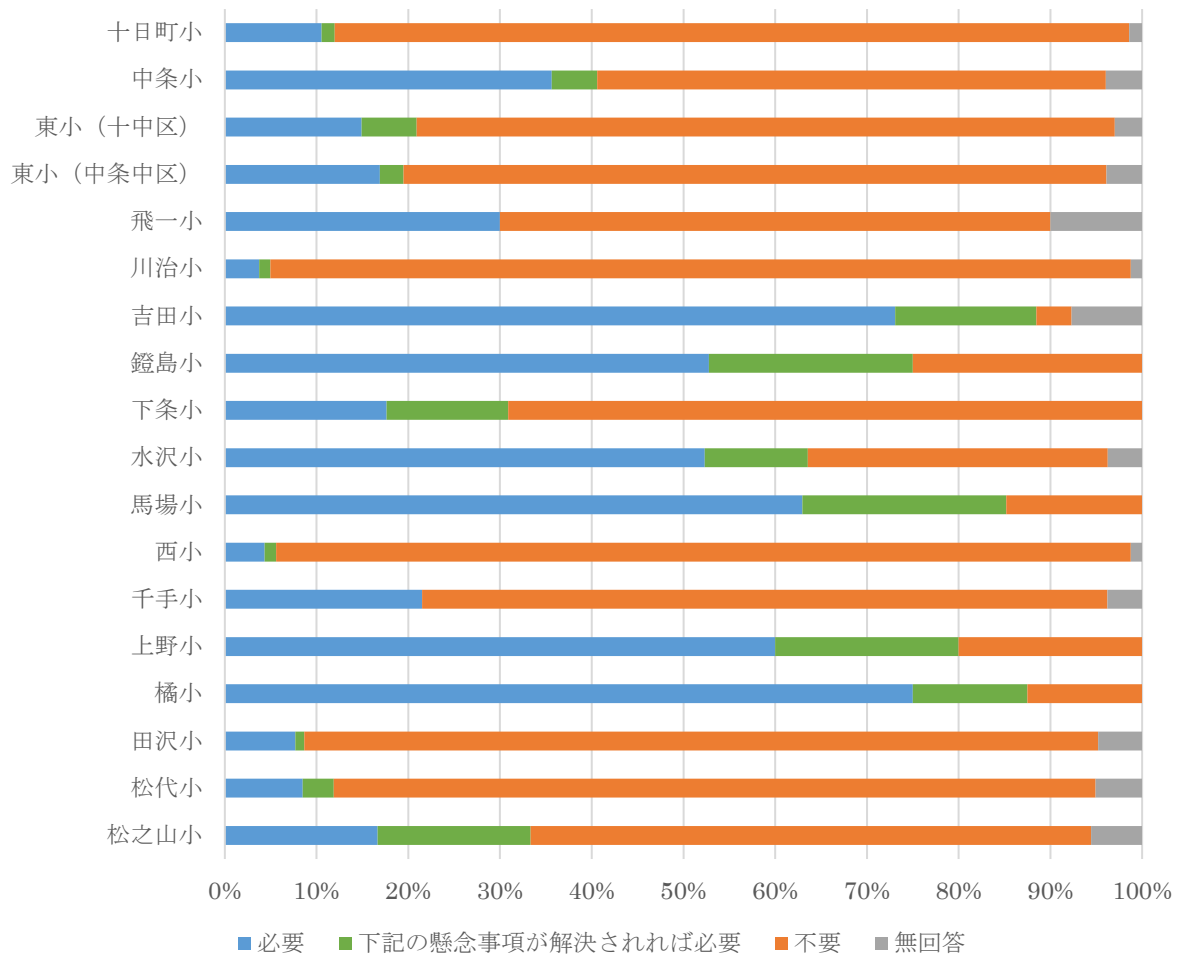
- 「不要」が913件（69.4%）と最も多い。
- 一方、「必要」が294件（22.4%）で、「懸念事項が解決すれば必要」が74件（5.6%）で合わせて368件（28.0%）であった。

（所見）

- 学区再編計画において、自校が再編対象となっていない学校区や、再編対象であっても受け入れる学校区では、「不要」の回答が多い。保護者が自校の学区再編を意識していないことがうかがえる。
- 再編対象である吉田小学校、鑑島小学校、水沢小学校、馬場小学校、上野小学校及び橘小学校区では、半数以上が「必要」と回答しており、再編を必要と考えている保護者が多いことがうかがえる。
- 再編される学校区である飛渡第一小学校区では、半数以上が「不要」と回答しており、再編を不要と考えている保護者が多いことがうかがえる。



### 問 6 (1)-1 小学校の学区再編（小学校区別割合）



（単一回答）

区分	回答数	割合 (%)
1 必要	294	22.4
2 懸念事項が解決すれば必要	74	5.6
3 不要	913	69.4
無回答	34	2.6

(1)-2 前問で 2 を選択した場合、その懸念・心配事項をご記入ください

(1)-3 (1)-1で「1 必要」又は「2 下記の懸念事項が解決されれば必要」とした場合、あなたが希望又は妥当と考える再編対象の中学校はどちらになりますか

(1)-2及び(1)-3の調査結果については、小学校区別結果報告書に記載

#### ■各学区

内容は別紙「調査結果（問 6 の小学校区別）」のとおり

## 【中学校】

■全体 (n=1,315)

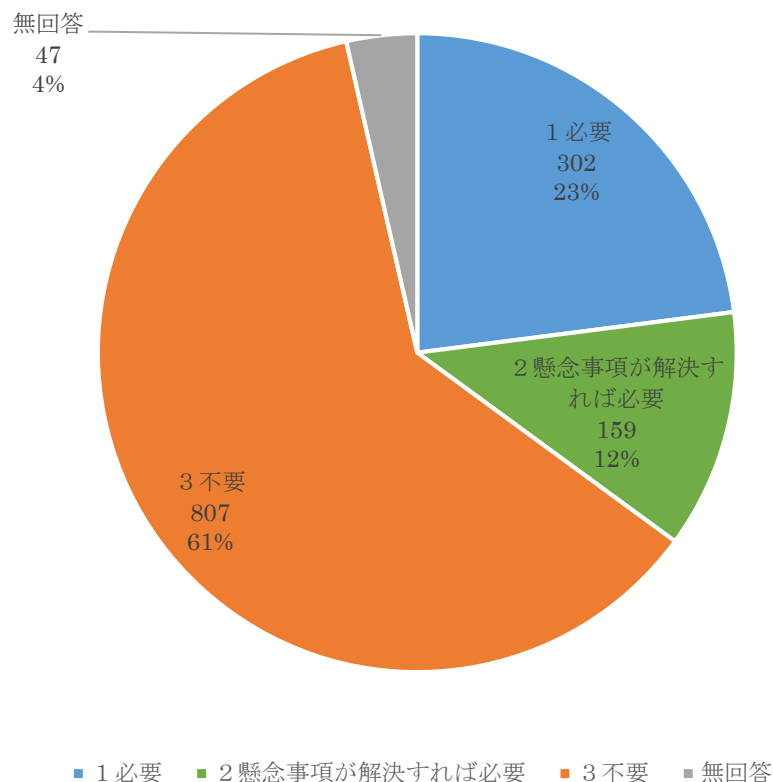
(2)-1 あなたの居住地区の**中学校**について、学区再編が必要だと思いますか

- 「不要」が807件（61.4%）と最も多い。
- 一方、「必要」が302件（23.0%）で、「懸念事項が解決すれば必要」が159件（12.1%）で合わせて461件（35.1%）であった。

（所見）

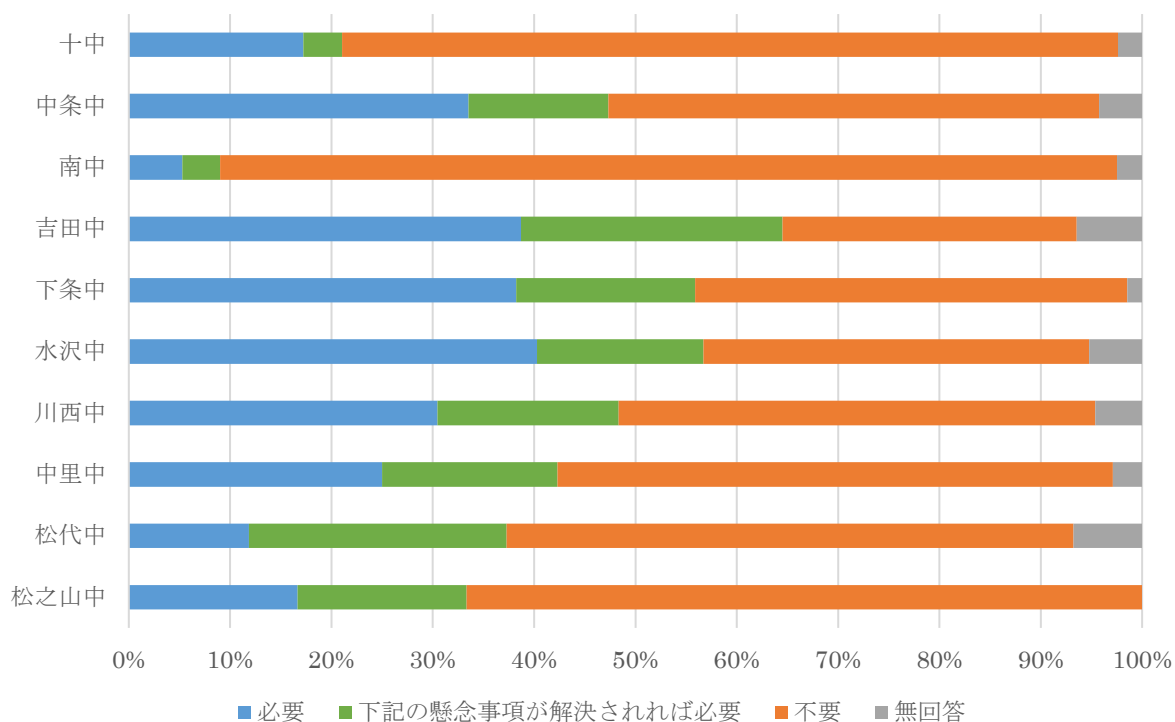
- 小学校同様、学区再編計画において、自校が再編対象となっていない学校区や、再編対象であっても受け入れる学校区では、「不要」の回答が多い。保護者が自校の学区再編を意識していないことがうかがえる。
- 再編対象である吉田中学校区、下条中学校区及び水沢中学校区では、半数以上が「必要」と回答しており、再編を必要と考えている保護者が多いことがうかがえる。
- 再編される学校区であるものの、中里中学校区及び松代中学校区では、半数以上が「不要」と回答しており、再編を不要と考えている保護者が多いことがうかがえる。
- 再編対象である中条中学校及び川西中学校では、「必要」と「不要」とで回答がほぼ拮抗しており、保護者の考えもほぼ拮抗していることがうかがえる。

問 6 (2)-1 中学校の学区再編

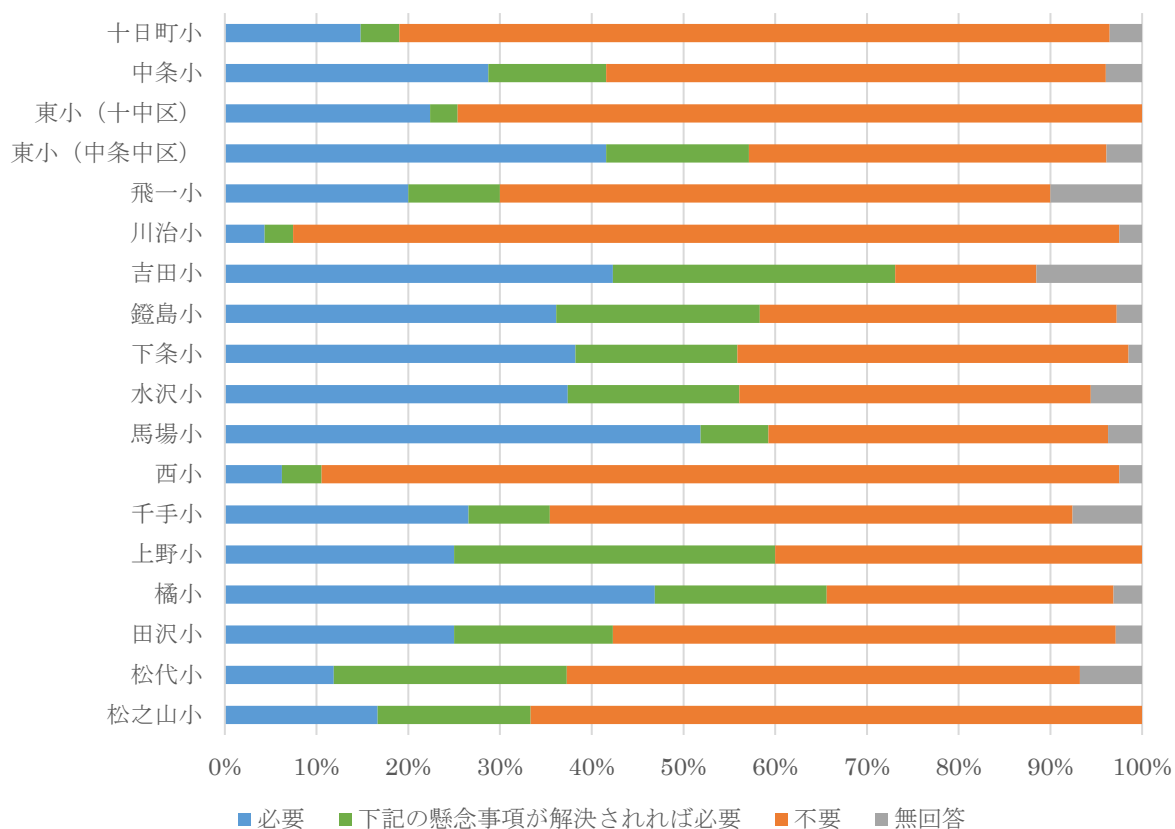




問 6 (2)-1 中学校の学区再編（中学校区別割合）



問 6 (2)-1 中学校の学区再編（小学校区別割合）



(単一回答)

区分	回答数	割合(%)
1 必要	302	23.0
2 懸念事項が解決すれば必要	159	12.1
3 不要	807	61.4
無回答	47	3.6

(2)-2 前問で2を選択した場合、その懸念・心配事項をご記入ください

(2)-3 (2)-1で「1 必要」又は「2 下記の懸念事項が解決されれば必要」とした場合、あなたが希望又は妥当と考える再編対象の中学校はどちらになりますか

(2)-2及び(2)-3の調査結果については、中学校区別結果報告書に記載

#### ■各学校区

内容は別紙「調査結果（問6の中学校区別）」のとおり

#### 問7

あなたのお子さんの現在の学級人数などについてお尋ねします。(未就学児しかいない保護者は回答不要)

(1) **小学生**について

ア お子さんの学級の人数が次のどれに該当するかお答えください。(複数の児童がいる場合は最も少ない方でお答えください。)(単一回答)(n=762)

●回答数では「② 21人～30人」が384件(50.4%)と最も多く、ついで「③ 11人～20人」が161件(21.1%)であった。

区分	回答数	割合(%)
① 31人～40人	135	17.7
② 21人～30人	384	50.4
③ 11人～20人	161	21.1
④ 1人～10人	82	10.8

イ 前問でお答えいただいた学級の人数について、あなたの所感をお答えください。(単一回答)

●「①31人～40人」は「②今の人数が適当だと思う」が76件(56.3%)と最も多く、ついで「③もう少し少ない方がよい」が41件(30.4%)であった。  
●「②21人～30人」は「②今の人数が適当だと思う」が295件(76.8%)と最も多く、ついで「①もう少し多い方がよい」が63件(16.4%)であった。  
●「③11人～20人」は「②今の人数が適当だと思う」が106件(65.8%)と

最も多く、ついで「① もう少し多い方が良い」が51件（31.7%）であった。

- 「④1人～10人」は「① もう少し多い方が良い」が63件（76.8%）と最も多く、ついで「今の人数が適当だと思う」が14件（17.1%）であった。

（所見）

- 10人以下の学級は、学級規模がもう少し多い方がよいと考える保護者が多いことがうかがえる。
- 一方、31人以上の学級では、現在の人数が適当と考える保護者が多いことがうかがえるが、もう少し少ない方がよいと考える保護者も少なくないことがうかがえる。
- 総合的に見ると「②21人～30人」規模が適正と考える保護者が最も多いと推測される。

（ア） アの区分①について（n=135）

区分	回答数	割合(%)
① もう少し多い方が良い	16	11.9
② 今の人数が適当だと思う	76	56.3
③ もう少し少ない方が良い	41	30.4
④ その他	1	0.7

（イ） アの区分②について（n=384）

区分	回答数	割合(%)
① もう少し多い方が良い	63	16.4
② 今の人数が適当だと思う	295	76.8
③ もう少し少ない方が良い	20	5.2
④ その他	2	0.5

（ウ） アの区分③について（n=161）

区分	回答数	割合(%)
① もう少し多い方が良い	51	31.7
② 今の人数が適当だと思う	106	65.8
③ もう少し少ない方が良い	1	0.6
④ その他	2	1.2

（エ） アの区分④について（n=82）

区分	回答数	割合(%)
① もう少し多い方が良い	63	76.8
② 今の人数が適当だと思う	14	17.1
③ もう少し少ない方が良い	0	0.0
④ その他	5	6.1

※ (1)のイ(ア)から(エ)までの回答数及び割合については、調査票の当該設問に対して未記入の回答があるため、回答数の計が当該標本数と一致しないことがある。したがって、割合を合計しても 100 パーセントに満たない場合がある。

(2) **中学生**について

ア お子さんの学級の人数が次のどれに該当するかお答えください。(複数の生徒がいる場合は最も少ない方でお答えください。)(単一回答)(n=479)

●回答数は、「② 21人～30人」が227件(47.4%)と最も多く、ついで「① 31人～40人」が189件(39.5%)であった。

区分	回答数	割合(%)
① 31人～40人	189	39.5
② 21人～30人	227	47.4
③ 11人～20人	52	10.9
④ 1人～10人	11	2.3

イ 前問でお答えいただいた学級の人数について、あなたの所感をお答えください。(単一回答)

- 「①31人～40人」は「②今の人数が適当だと思う」が100件(52.9%)と最も多く、ついで「③もう少し少ない方が良い」が72件(38.1%)であった。
- 「②21人～30人」は「②今の人数が適当だと思う」が170件(74.9%)と最も多く、ついで「①もう少し多い方が良い」が46件(20.3%)であった。
- 「③11人～20人」は「①もう少し多い方が良い」が39件(75.0%)と最も多く、ついで「②今の人数が適当だと思う」が12件(23.1%)であった。
- 「④1人～10人」は「②今の人数が適当だと思う」が7件(63.6%)と最も多く、ついで「①もう少し多い方が良い」が3件(27.3%)であった。

(所見)

- 10人以下の学級では、回答数は少数であるが、現在の人数が適当だと思う保護者が多いことがうかがえる。
- 一方、「③ 11人～20人」では、もう少し多い方が良いと考える保護者が多いことがうかがえる。
- 総合的に見ると「②21人～30人」規模が適正と考える保護者が最も多いと推測される。

(ア) アの区分①について (n=189)

区分	回答数	割合 (%)
① もう少し多い方が良い	12	6.3
② 今の人数が適当だと思う	100	52.9
③ もう少し少ない方が良い	72	38.1
④ その他	1	0.5

(イ) アの区分②について (n=227)

区分	回答数	割合 (%)
① もう少し多い方が良い	46	20.3
② 今の人数が適当だと思う	170	74.9
③ もう少し少ない方が良い	11	4.8
④ その他	0	0.0

(ウ) アの区分③について (n=52)

区分	回答数	割合 (%)
① もう少し多い方が良い	39	75.0
② 今の人数が適当だと思う	12	23.1
③ もう少し少ない方が良い	1	1.9
④ その他	0	0.0

(エ) アの区分④について (n=11)

区分	回答数	割合 (%)
① もう少し多い方が良い	3	27.3
② 今の人数が適当だと思う	7	63.6
③ もう少し少ない方が良い	0	0.0
④ その他	1	9.1

※ (2)のイ(ア)から(エ)までの回答数及び割合については、調査票の当該設問に対して未記入の回答があるため、回答数の計が当該標本数と一致しないことがある。したがって、割合を合計しても100パーセントに満たない場合がある。

問8 学区再編（学校統合）の際に、あなたが特に重要だと思うことを次の中から3つまで選んでお答えください。（複数回答：上位3件を選択するもの）

- 「⑤ 遠距離通学となる場合は、スクールバス等の運行による安全安心な通学方法をしっかり確保すること」が954件（72.5%）と最も多く、ついで「① 児童生徒が再編による環境変化に（新たな環境の適応変化による学力や学校生活に対する不安等）適応できるよう、児童生徒間の理解と交流を図ること」が942件（71.6%）であった。

（所見）

- 通学距離が遠くなることで、児童・生徒の負担増加や登下校時の危険性が高くなることを不安に感じている保護者が多いことがうかがえる。
- 学区を再編することによって生じる環境の変化に、児童・生徒が対応できるか、再編する側、される側、共に不安に感じる保護者が多いことがうかがえる。

（n=1,315）

	内容	回答	
		件数	割合(%)
⑤	遠距離通学となる場合は、スクールバス等の運行による安全安心な通学方法をしっかり確保すること	954	72.5
①	児童生徒が再編による環境変化に（新たな環境の適応変化による学力や学校生活に対する不安等）適応できるよう、児童生徒間の理解と交流を図ること	942	71.6
④	再編に当たって相互に学校や地域のことを学び、双方の特色や良さを活かした学校づくりを進めること	395	30.0
⑦	学校が統合された地区が衰退しないような取り組みを進めること	373	28.4
⑥	学校の施設や設備の充実を図ること	312	23.7
⑧	閉校した学校の利活用や跡地利用を考えること	236	17.9
②	双方の学校・地域の保護者同士の親睦と理解を育むこと	184	14.0
③	再編後の学校活動に各地域の住民が参加しやすくなるよう、学校運営協議会の委員構成等に配慮しながらコミュニティ・スクール（※下欄に注記あり）の取組を充実させること	155	11.8
⑨	その他	62	4.7
	無回答	38	2.9

問9 学区再編（学校統合）に当たって、対応が必要と考える課題や懸念がありましたら次の欄にご記入ください（記述）

内容は別紙「調査結果（記述部分）」のとおり

問10（自由意見）

小・中学校の学区適正化について、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由に

記入してください。(記述)

内容は別紙「調査結果(記述部分)」のとおり

**問11 (東小学校区の保護者限定)**

特に東小学校区にお住いの保護者にお尋ねします。市では、東小学校区全域を十日町中学校区に再編する方針としていますが、この方針についてのあなたのお考えを伺います。(単一回答)

内容は別紙「調査結果(東小学校区限定)」のとおり

以上